

目標達成計画

作成日:平成26年1月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	コミュニケーションを自分の方から取り難い人に対するの対応の仕方。	難聴などで人との会話が困難であっても、他のコミュニケーション方法を使い、関わりを取りながら、本人の思いが達成できる。	まず会話をして、コミュニケーションをとる。非言語コミュニケーション、ゼスチャーを取り入れる。表情を豊かにして、身振り、手振りをする。また、ホワイトボードを使い、筆談で対応する。	
2	13	人材育成をして、現状をスキルアップする。	認知症の理解を深めて、ケアの質を高める。また業務では、時間配分を考えチームがよりよく動けるようにする。	申し送りを徹底する。気付いた事は直ちに言葉で伝え、申し送りノートに記録する。その記録を必ず仕事の前に確認する。業務では、ペアとなる人と常に声かけ合う。また動きも確認しておく。一日のうちするべき事は、最終チェックをする。時間内に出来る様みにつける。	ヶ月
3	4	ホームへの家族の関わりが少ない。会議に声をかけても、参加されない。	会議に参加され、ホームと、その地域の支援されて方々と交流を深めてもらい、ホームと、家族と、地域が共に支援する事の大切さを理解する。	運営推進会議に出席されるように、働きかける。案内状は手渡し出来るところは、手渡しする。面会時には、日頃の様子、現状を説明し、会議の出席の必要性を説明する。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

作成日:平成26年1月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		家族への呼びかけに対して、家族の理解が得られない。基本一人暮らしの方が多いので家族が来られる状況にない。	病院受診を家族に連れて行って頂けるようにする。移動が難しい方の場合はこちらで支援し、受診中は家族に付き添って頂く様にする。	担当者会議を通して家族の理解を得て行く。何か変化があったり、本人が家族を待っていられる時等、その都度連絡をする。	6ヶ月
2		職員の認知症理解の差があり、ケアに差がある。	職員のケアの向上を目指し、チームケアの統一を図る。	定期的な勉強会を通して、各自のスキルアップケースカンファレンス等の充実を図る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。